

1.北陸新幹線金沢・富山開業の北陸経済への波及効果と課題について



- ◆観光・消費への波及
 - ・開業以降、管内への観光客が増加
 - ・能登地域や金沢以西等への地域的波及
- ◆関連産業への波及
 - ・ものづくりなど観光業以外の関連産業への波及
- ◆本社機能の一部移転、企業進出
- ◆地元企業の新たな事業展開
- ◆地価動向
 - ・金沢駅金沢港口の商業地上昇率は全国トップ

持続的な地域経済の好循環が期待

各自治体での「移住、定住」など地方創生への取組みが加速化

地域経済活性化に繋がる地方創生のモデルケースとして期待

●今後の課題

- ・観光・消費関連を中心に人手不足感
- ・労働生産性の向上
- ・女性の登用・活用
- ・高齢者の活用
- ・新卒者の人材確保
- ・管外からの移住・定住促進

意見交換(主な意見)

・新幹線の開業効果が、加賀、能登にも及んでいるということも思っていた以上に大きかった。今後は、リピーターの獲得が課題である。

・金沢から先の新幹線開業については、後年も見据えて福井らしさ、固有の資源をどう磨き、活用していくかという戦略が一番求められる。そのため、富山、石川の新幹線効果について、観光を中心にデータを駆使してケーススタディしていく必要がある。

・女性がいかに女性らしく社会生活を営みながら社会の主役となっていくか。女性が主役であるために、どのようなシステム上の問題があったのか。この成熟した日本の中で、女性はどういう生活観・人生観を持っているのか検証していくことが大事だと思う。

・地方からの転出は続いている。北陸は「暮らしやすさ」の指標は非常に高いが、物理的な側面だけではなく、情緒的・文化的な側面、或いは仕事のやりがいといった定量化できないところを、しっかり捉えていく必要がある。

・地方版の総合戦略をつくるということになっているが、各自治体がどういう人を主体に想定しているのかが見えない。形だけではない総合戦略に仕上げしてほしいと思う。

・北陸3県が広域で協力し、国と地方自治体の役割を明確にして、地方がもっと自由にできるように日本の国の形を変えていくべきだと強く思う。

2.人口減少社会における企業活力の維持・拡大について

総人口減少による企業活動への影響

労働者の減少



GDP減少

労働供給面に懸念

労働投入量の維持に向けた課題

- ・女性にはM字カーブが残り、就業希望が実現していない
- ・女性労働者の管理職への登用が進んでいない

労働生産性向上のための課題

- ・商品力の差別化
- ・製造業の労働生産性が低位

10の提言

労働投入量の維持

- 1 女性の活用 ~未就業の子育て世代を再誘引~
- 2 女性の活用 ~事務系求職者を現場へ誘引~
- 3 高齢者の活用
- 4 新卒者の確保

労働生産性の向上

- 5 商品等の差別化、自立化、市場化
- 6 女性の登用
- 7 業務工程の不断の見直し・改善
- 8 異業種連携
- 9 合理化投資
- 10 金融機関による事業性評価・支援

3.地方公共団体、地域金融機関の地方創生の取組みへの支援

◎地方公共団体の財務状況把握

地方公共団体の歳入・歳出決算を基に、債務の償還確実性を確認

【主な確認ポイント】

- ・人口動態、産業構造
- ・財政力指数
- ・収入、支出面の特徴

内在リスクの把握

- 人口減少による税収減
- 地域産業の動向
- 特定業種、特定企業への依存
- 公営企業会計に対する財政負担
- 公共施設の再編・統廃合 等

健全な財政運営に向けたアドバイス

◎地域金融機関が地方創生で求められる役割

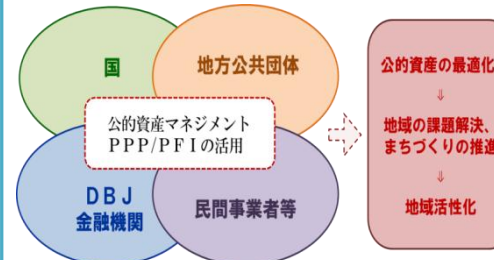
- 地方版総合戦略の策定・推進への協力
- 様々なライフステージにある中小企業の支援

財務局の支援

- ◆情報収集の利便性向上
- ◆地方公共団体の要望等の提供
- ◆地域金融機関の取組状況の還元・好事例の公表
- ◆講演会、研修会の開催

4.公的資産マネジメントの取組み

- ①地域にPPP/PFIを根付かせることにより、公的資産マネジメントを支援
- ②公的資産マネジメントを通じた地域の課題解決、まちづくり・地域活性化を支援



公的資産の最適化
↓
地域の課題解決、まちづくりの推進
↓
地域活性化